



林 声



OKAYAMA

お か や ま

No. 385 . 2006 . 1 . 1



賀正

大池から奈義山を望む（奈義町）

目 次

新年のごあいさつ	2	普及指導最前線	6
おかやま森づくり県民税事業の紹介 ...	3	研究だより	7
普及情報	4	お知らせ	8
地域の森林・林業を支える人たち ...	5	林産物市況等	10

新年のごあいさつ



岡山県林業改良普及協会 会長 井手 紘一郎

新年あけましておめでとございます。

会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素から当会の運営につきましては、格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、森林・林業を取り巻く情勢は依然として厳しい状況の中、一昨年十月の台風二十三号による風倒木被害は森林所有者の方に大きな打撃でありました。被害に遭われた方々には、深くお見舞いを申し上げる次第です。

県では、激甚災害の指定を受け、倒木の伐採、搬出、造林等、早急な復旧支援対策を講じており、被害面積五、五〇〇haのうち、今年度中に復旧計画面積の約四割を復旧できる見込みとなっております。

また、風倒木の利用も、林道や

農道法面の丸太伏工、離岸堤の基礎工等に使用されるなど、公共事業を中心に積極的な活用が図られています。

ところで、林業は山村の振興に大きく貢献してきたことはいまでもなく、木材を繰り返し生産・供給するという営みを通して、活力ある森林を育てながら森林資源の循環利用を推進するという重要な役割を果たしており、改めて林業の重要性が見直されています。

一方、国においては、京都議定書の森林による二酸化炭素の吸収目標三・九%を達成するために、大幅な追加的事業費の投入で森林整備を推進しなければならぬ状況であることが明らかになっています。

県においても、平成十六年度に「おかやま森づくり県民税」が導入されましたが、その契機は、森林の整備が遅れている状況にあるためです。

このような状況を打開するため、間伐対策など補助制度の充実が図られてきていますが、林業が将来ともに生き活きとした産業であるためには、木材の循環利用を大きな流れにする必要があります。

こうした中、県では木質バイオマスの活用を推進するため、エネルギー資源としての有効利用を目指し「E3社会実験」を昨年十月から開始しています。この取組は、風倒木や製材廃材から製造したバイオエタノールを三%混ぜた「E3」を使い、県や真庭市の公用車の燃料として使用しながら、走行性や給油機器への影響等を調査し、実用化に結びつけるとともに、バイオマス活用法の一つとして広くPRするものです。

近年の県の行財政改革の流れを背景として、林業普及指導事業をより一層柔軟かつ効率的に実施するための検討もなされており、が、当普及協会といたしましても、産業としての林業が活力を取り戻し、林業関係者の森林づくりへの意欲を促すため、林業普及指導事業と密接な連携を図りながら、林業技術の普及、後継者の育成、地域林業の振興などの一翼を担ってまいり所存であります。

会員の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、それぞれの分野でますますご活躍されることをお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

コマツのグラップルレンタル機ラインナップ

〒708-0014 岡山県津山市院庄921-1
コマツ中国(株)岡山北支店
TEL.(0868)28-2261



ベースマシン	PC45MR-1	PC78US-5	PC138US-2
機械質量	4.9トﾝ	7.4トﾝ	13.9トﾝ
接地幅	1,960mm	2,320mm	2,490mm
グラップルメーカー	コマツ	イワフジ	松本システム
型式	LH03-3E	GS65LHV	MSE45LGS
最大開口幅	1,185mm	1,620mm	1,910mm
最小掴み径	105mm	95mm	80mm
ウインチ	有	無	無



林業の機械化に取り組むコマツはグラップルのレンタルも各種取り揃え対応いたします。1日からでもお気軽にご利用下さい。



**おかやま森づくり
県民税事業の取組
状況について**

今回は、この税事業の三本柱の一つ、「森林・林業情報の提供と森づくり活動の推進」の中から「森づくりのための人材養成」及び「県民の直接参加による森づくり」について紹介します。

一、森づくりのための人材養成

多くの県民の方々が森づくりに参加できるよう、森づくりボランティア活動の指導者を育成するとともに、森林体験学習等を行うために必要な人材を養成します。

○森づくりボランティア育成事業

森林活動ボランティアネットワーク会議開催

「美しい森づくりの会」等県下十五の森林ボランティア団体のリーダーが集い、活動状況や課題等について意見交換をしました。

出席者からは「森づくり活動の幅広い展開のためには、会の自立が必要」などの意見が出され、行政主導から住民主体による活動への転換の必要性等について熱心な議論が交わされました。

「高梁地域美しい森づくりの会」を再編し、NPO法人化
「高梁地域美しい森づくりの会」は、これまで十年間の活動等を踏まえ、今後も安定した活動を継続していくため、会員を再募集し組織を再編しました。昨年十一月、NPO法人「ふれあいの里・高梁」の設立総会を開催し、定款や役員等が承認され、本年度中には設立認証される予定です。

森林ガイド養成

小中学生等を対象として開催される森林教室や林業体験イベント等において、講師やスタッフとして活動いただく「森林ガイド」を養成しています。延べ三日間の森林・林業に関する研修受講者を知事が認定するもので、平成十八年度も実施を予定していますので、意欲のある方の申し込みをお待ちしています。また、市町村や教育機関等において、「森林ガイド」を活用する森林教室等を積極的に実施していただくことを期待しています。

二、県民の直接参加による森づくり

ドリングリポット苗木づくりや植

樹、保育のつどいの開催等、森づくりのプロセスに重点を置いた県民の自発的な参加による森づくりを進めます。



森林ガイド養成研修会風景

○県民参加の森づくり事業

ドリングリポット苗木づくりや「美しい森」等で保育のつどいを開催し、実践活動を通じて森林・林業への理解を深めていただいています。

○県民参加の家族の森づくり事業

結婚や誕生などの記念に「ドリングリのポット苗木」を配布し、家庭での育苗後、「美しい森」等で家族そろって植樹をしていただきます。植樹等を通じて思いやりや支

「森づくりのための人材養成」及び「県民の直接参加による森づくり」

区分	16年度実績	17年度計画
「森づくりのための人材養成」 ・森づくりボランティア育成事業	・美しい森づくり推進会議等開催 ・森林ガイド養成(28名) 【事業費:649千円】	・森林活動ボランティアネットワーク会議等開催 ・森林ガイド養成(20名) 【事業費:1,026千円】
「県民の直接参加による森づくり」 ・県民参加の森づくり事業	・ドリングリポット苗木づくり ・保育のつどい等開催(81回、4,500人参加) 【事業費:9,842千円】	・ドリングリポット苗木づくり ・保育のつどい等開催 【事業費:11,507千円】
・県民参加の家族の森づくり事業	・記念植樹実施(33千本) 【事業費:3,935千円】	・記念植樹実施(30千本) 【事業費:4,029千円】

え合いの心を育てていただくとともに、県民自らの手による森づくりを進めています。平成十八年度までに「美しい森」等に十二万本の苗木を植えることとしています。来年度以降も県民の皆さんとの協働により、県民参加の森づくりに努めて参りますので、多くの方々のご参加をお願いします。(林政課 おかやまの森づくり班)

普及情報

「原木シイタケ」

今日、食の安全・安心が求められる中、原木シイタケは自然食品とし、また、森林資源を活用した環境負荷の少ない栽培方法としても見直されていますが、生産量は国内消費量の三割に満たない状況です。今回は、様々な観点から原木シイタケを再考してみましよう。

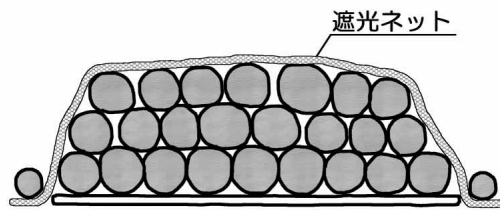
原木の選定と植菌

原木はシイタケにとつての畑で後々の作業が、生産量や品質向上を決定する重要な要素であるので基本に忠実にいきましょう。適木としてはクヌギ、コナラ、ミズナラで、伐採適期は黄葉初期から三分黄葉の頃。伐採後の葉枯らしは小枝を折ってみて中心部の緑色が黄色に変わっていれば完了です。

後、速やかに玉切り、植菌（駒打ち）へと進め、植菌はソメイヨシノの開花までに終わらせるようにしましょう。なお、原木や種菌の扱いは清潔に心がけ、高温・過乾燥にならないように注意してください。

伏せ込み

植菌直後のホダ化促進のための仮伏せは、ホダ木を棒積みにし、遮光ネット



仮伏せ

等で覆い、乾燥を防ぐとともに、五 以下とならないよう管理します。本伏せ移行への目安は、木口に菌糸紋が白く現れる頃です。

本伏せの場所は南あるいは南東斜面で風通しと水はけがよく、直射日光が当たらない、夏の昼下がりに昼寝したくなるような所がよいとされます。昨年のような夏季の湯水対策として、散水ができればなお安心です。人工庇陰では温度が上がリ、湿気がこもりやすいため、ほだ木の間隔を開け庇陰を段違いにする等で風通しをよくし蒸れに注意します。

害菌が発生した場合、その種類から過乾燥なのか、過湿なのかを推察し、風通しや庇陰を調整し、

シイタケのホダ化に最適な状態にもつて行きます。ほだ木の上下を入れ替える天地返しも均一なホダ化には重要な作業です。

諸害から守る

苦労して育てたのに獣に取られてはがっかりです。周囲の樹木越しにサルが侵入するのを防ぐために、5m以上庇陰樹との空間を設けます。地上部には柵を設置しますが、柵には電気柵や、テグス網・ダンポール等を組み合わせさせて自作する等の方法があります。

虫害の防止には、廃ホダを残さず、ホダ場をよく巡回し常に清潔に保つことがいちばん安全で確実な方法でしょう。

食べてもらおう

原木シイタケの魅力のアピール

忘れてはいけません。ビタミンB類は野菜の二倍程度含まれ、骨粗鬆症の予防に有効とされるビタミンDは、乾シイタケのひだを上にして太陽光に三十分ほど当てることで一千倍以上増加し、また、シイタケ特有の成分のエリタデニンは血液中の総コレステロール値

を下げる働きがあることが知られています。さらに、旨み成分をつかさどるアミノ酸量と組成は、菌床シイタケよりも原木シイタケが優れることが分かっています。

原木しいたけについて再考できたでしょうか。生産・消費双方から原木シイタケの良さを見直す気運を高めて行きましよう。

（林政課 普及指導班）



21世紀に向けて緑を創る

株式会社 山 都 屋

本社 〒703-8273 岡山市門田文化町2丁目11番51号
TEL(086)272-2161 FAX(086)272-2142

大阪営業所 津山営業所 水島事業所

地域の森林・林業を 支える人たち

「新見市神郷女性林研グループ
山口 紀久子さん」

新見普及指導区

今回は、「第十一回中国・四国
ブロック林業グループコンク
ール」で一位となった新見市神郷女
性林研グループ会長の山口紀久子
さんをご紹介します。

林研グループ活動について

昭和五十六年六月、シイタケ生
産者の配偶者を中心に十八人のメ
ンバーで「新見市神郷女性林研グ
ループ」が結成されました。「自
分たちの森林の育成は自分たちで
やろう!」をスローガンに、山村
に住む女性の自立をめざして活動
を続けています。

過疎化や高齢化、後継者難など
農山村地域が抱える厳しい現状の
中において、会長として、会員の
林業技術の向上に取り組むととも
に、しいたけやまいたけの栽培技
術の研究などに積極的に取り組ん
でいます。

山口さんは、この林研グループ

での活動をきっかけに全国林業研
究グループ連絡協議会婦人部の役
員に就任され、県内各地や全国を
回り自分たちの活動を紹介し、女
性林研グループの組織化や活動促
進に取り組まれました。

農山村における女性の自立

平成三年に取得した調理師免許
を活かして、自宅の一部を改装
し、よもぎを使ったこんにやくや
餅などを作っています。これら
は、農協の朝市を中心に販売され
ていますが、最近では毎週水曜日
の朝市が待ち遠しいそうです。

山口さんは、「自分の通帳を持
ち収入を得ることが、女性の自立
に繋がる。」として今後も長く続
けていきたいと頑張っています。

新たな地域特産品の開発

地域の特産品として何か新しい
ものがないかと考え、周囲の山に沢
山あるスギの葉を使った草木染め
やリース作りに取り組んでいます。

昨年の十月からは公民館活動で
地域の子供たちに草木染めを教え
ています。

また、スギの葉リースは、新見
市で開催された「晴れの国おかや
ま国体」成年女子ソフトボールの
会場に飾られ、全国から参加され

た選手や応援団の方々を温かくお
もてなしました。



今後の目標について

「女性林研では、今年から木工教
室やスギの葉を使った草木染めを
本格的に始めました。世代を超えた
交流ができる場作りを目指して山
にある自然の恵みを生かした新し
い取組みに挑戦していきたいです。」

「女性の自立も、地位向上も各
自の努力だと思えます。そして周
囲の人々の協力を得ながら成長し
ていきたいと思えます。」

山口さんは、県下初の女性の森
林組合理事になられました。ま
た、新見市まちづくり審議会委員
に就任され、ますます多忙となら
れておりますが、今後の活躍が期
待されます。

(林業普及指導員 武用康男)



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

普及指導最前線

「山火事跡地の復旧進む」

倉敷普及指導区

平成十四年四月二日に総社市久米で発生した山火事は四月五日まで燃え、六一％を消失する大火となりました。

倉敷普及指導区では、平成十四年度から山火事跡地の一部についてボランティアによる復旧に取り組み、本年をもってほぼ終了することができました。

復旧は、小学生、各種企業・団体等延べ二、七〇〇名ものボランティアが参加し、二・二ヘクタールにド



漁業関係者による植樹運動

グリの苗木一六、三〇〇本を植栽しました。

その際、復旧活動に参加いただいた多くの方に、森林の働きやその大切さについて理解を深めていただくようPRにも努めてきました。



小学生による植樹活動

地面が露出していた山肌も現在では緑が戻り、早期に植栽したアベマキは一丈を超える高さに成長したのももあり、旺盛な成長を見せています。

復旧に向けた取り組みは一区切りが過ぎましたが、倉敷美しい森や真備美しい森を活用し、今後とも森林の大切さをPRしていきたいと思えます。

(林業普及指導員 近藤和夫)

「湯原温泉・彩りの森づくり」

真庭普及指導区

一 はじめに

真庭普及指導区では湯原林業研究会及び湯原旅館組合女性部が中心となつて構成されている「湯原温泉・彩りの森づくりの会」と協働の下、子供達の森林・林業学習活動等に取り組んでいます。

二 内容

「湯原温泉・彩りの森づくりの会」は昨年六月に結成され、湯原湖畔にある「霞ヶ丘森林公園」周辺の環境整備を実施し、観光客・都市住民と地域住民とのふれあいの場としての利用を推進しています。

当普及指導区としても、その活動を積極的に支援しており、これまで下刈り体験活動、子供樹木博



士の認定、しいたけ植菌体験などの行事を協働で行っています。

このうち、九月に開催した子

供樹木博士の認定については、普及指導員が講師役となり公園内の樹木の特徴等を説明し、その後認定試験(樹木の名前当て試験)を実施しました。当日は地元の小学校児童十四名が参加し熱心に樹木名、その特徴を学習していました。

また、十一月に実施したいたけ植菌体験では小学生児童約三十名が参加し、種駒を打ち込んだ



後、ほた場へ移動し自分が植菌したほた木を伏せ込みました。普及指導員は植菌作業のアドバイス

ほか、伏せ込み場の環境についての指導を行いました。

三 おわりに

今後は、「霞ヶ丘森林公園」の散策マップの作成のほか、三月には植樹祭が開催される予定になっており、「森づくりの会」からは普及指導員の役割に大きな期待が寄せられています。

(林業普及指導員 安東義朗)

研究だより

「床暖房フローリングに無垢のヒノキは使えるか？」

岡山県木材加工技術センター

野上 英孝

近年、住環境の健康志向を反映して、フローリングをはじめとする内装部材に無垢の木材が用いられるケースが増えています。一方、床暖房設備が一般住宅に普及し始めている昨今、「床暖房フローリングにも従来の複合フローリングではなく、無垢材が使えないか？」との相談が製材業者や建築士に寄せられています。「接着加工製品」「健康的でない」という短絡的な思考も見え隠れするこの無垢材ブームには若干の疑問を抱くこともあります。いずれにせよ、国産製材業界にとってチャンスであることに間違いありません。

当センターでは、床暖房に対応できる無垢フローリング材の品質を検討するために、県産ヒノキを用いた調査を行っています。フローリング材の乾縮・膨潤に伴

う、フローリングの隙間・浮き上がりといった不具合をいかに抑えられるかが、「床暖房にも使える」との評価につながる鍵となります。

高気密・高断熱化、暖房様式の電化が進む近年の住宅において、冬期の室内湿度が極端に低下している場合があります。このようなときに床暖房を長期間使用すれば、フローリング材の含水率も極端に低下し、乾縮に伴う大きな隙間が発生する危険があります。これを回避する方法は単純で、含水率の低下量を小さくする、つまり、フローリング材の含水率を最初から低く仕上げればよいのです。一方、膨潤に伴う浮き上がりは、床暖房を使用せず、空調も行っていない時期や、冬期でも床暖房は使用せず、灯油ヒーターなどを使用して室内の湿度が高くなっている時などに発生する危険があります。敷き詰められたフローリング材が膨潤して逃げ場を失った結果、上面に浮き上がるこの現象は、さね継ぎ部の破壊を伴う場合があります。修復が困難で、隙間よりもやっかいな不具合と言えます。しかし、これを回避する方

法も単純で、含水率の上昇率を小さくする、つまりフローリング材の含水率を最初から高く仕上げればよいのです。このように、どちらかの不具合発生を回避する方法は至って単純なのですが、相反しています。両方の不具合を上手く回避するための仕上げ含水率の決定は、かなり限られた範囲内でバランスを探る作業となります。これまで実大サイズの床暖房ユニットを用いた実証試験や、小型床暖房モデルを用いた実験室レベルの試験を行うことにより、仕上げ含水率の設定範囲が見えてきました。

八種類の住宅室内環境に置かれた板材の含水率変化について通年追跡した最近の調査報告を参考に、フローリング材の含水率は最高一六%、最低八%程度（床暖房稼働時はこれよりさらに二・五%程度低下する）の間で変化すると仮定しました。実験の結果、約九〇mm幅（厚さ一五mm）のヒノキ無垢フローリング材の場合、許容限界とされる隙間量〇・五mmをクリアできる仕上げ含水率は八%以下、浮き上がりが生じる危険性のある仕上げ含水率は七%以下であ

ることを確認しました。

以上のことから、仕上げ含水率七〜八%というごく限られた範囲が床暖房にヒノキ無垢フローリング材を用いる際の最適含水率と言えそうです。なお、フローリング幅をもっと狭くすれば、この範囲は広がります。また、ワックス等の表面仕上げや、施工方法（釘打ち方法や、根太ボンドの使用）によってもこの範囲は変化すると考えられ、現在さらに調査を継続中です。



実験に用いた小型床暖房モデル

お知らせ

「森林病害虫等防除推進員研修を
実施」

森林病害虫等防除推進員は、地域の自主的な防除組織のリーダーを養成するため、林業試験場において行う森林病害虫に関する研修を受講した方がたのことで、平成九年度から始まり、平成十六年度までに一〇八名の防除推進員が誕生しています。

今年度の研修会は十一月二四日から二五日の日程で行い、六名が参加しました。松くい虫被害の発生メカニズムや防除対策の現状等について認識を深めるための講義に続き、被害木を割材してマツノマダラカミキリの幼虫を採取したり、被害木から抽出したマツノザイセンチュウを顕微鏡で観察しました。また、防除器具の取り扱いを習得するため、薪割り機やチップパーなどを実際に操作しました。研修生からは、「資料でしか見たことがないマツノザイセンチュウを観察することができた。」「防除器具を実践で使用してみたい。」などの感想が聞かれました。来年度も研修会を開催しますので、みなさまの参加をお待ちしています。(林政課 森林保全班)

「森林経営インターンシップ
促進事業の実施について」
六月初旬、県北のスギ林で若人の歓声が響く。高性能林業機械の体験実習の一場面です。



初めて体験するタワーヤーダでの伐採木の搬出、プロセスサの効率的な造材能力、フオワードの運搬という一連の高性能林業機械作業体験は勝間田高校林業緑地科三年生十五名の森林林業作業に対する認識を一変させました。

寒さを感じ始めた十月末日、県森連津山研修センターに集合した同科二年生二三名は仕事内容や求められる人材像について企業等の担当者から説明を受け、将来の進路設定の参考とする就業相談会で実社会の厳しさや働くことの大変さを知り認識を新たにしました。

また、同日午後の企業等視察訪問や十一月二四日、二五日の就業体験を通じて森林林業関連分野への参入を考え始めた者も出てきました。最後に、事業実施に御協力いただいた関係各機関、企業等の皆様方から御礼申し上げます。(林政課 普及指導班)

「岡山県林業試験研究発表会の開催について」

岡山県林業試験場では、林業関係の方々をはじめ、多くの県民の皆様にご研究の成果をお聴きいただき、森林・林業や試験研究に対する理解を深めていただくため、次の日程で研究発表会を開催します。

一、開催日時

平成十八年一月三十一日(火) 十三時三十分から十六時まで

二、場所

岡山県林業試験場「森の館」 勝田郡勝中町植月中一〇〇一

三、発表課題

「台風被害の解析と耐風力を高める森づくり」、岡山県の林木育種における軌跡と展望」ほか三課題

なお、出席を希望される方は、平成十八年一月二三日までに、最寄りの県民局・支局の森林課までご連絡ください。

表彰受賞者のお知らせ

昨年十一月六日に逝去された岡 信一氏(岡山県木材協同組合連合会副会長(前会長)・岡山県ジャス製材事業協同組合理事長)に対して、長年、木材産業の振興に尽力された功績により、「正六位」が授与されました。故人の生前のご功績に対し、深く感謝と敬意を表するとともに、ご冥福をお祈りします。

(林政課 普及指導班)

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造元 森産業株式会社

岡山営業所 岡山市辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

森の育て親グループ 募集中!

平成十六年の相次ぐ大型台風の襲来により、県北地域を中心に人工造林地がつかつてない大きな被害を受けました。

岡山県では、風倒木被害地において県民との協働による森づくりを推進するため、今後五年間、植樹や保育作業を行っていただくボランティアグループ（森の育て親グループ）を募集します。

募集期間は、平成十八年一月二十七日（金）までで、募集団体数は、一〇グループです。

「森の育て親」について
五名以上のグループでお申し込みください。
一グループ当たり約一、〇〇〇平方メートルの森林を管理していただきます。

活動場所は、津山市下高倉東です。
森林所有者と五年間の利用協定を結んでいただきます。
資機材（苗木、鋏、鎌など）は、県が用意します。
今年度のスケジュール
平成十八年二月に現地説明会及

び講習会を、同年三月に植樹のつどいを実施します。



植樹のつどい（イメージ）

申込み方法

ハガキ、FAXまたはメールに次の内容を記入の上、岡山県林政課までお申し込みください。

グループ名、グループ全員の氏名（代表者に）、住所、生年月日

代表者の電話番号またはメールアドレス

問い合わせ・申込先

岡山県林政課

岡山市内山下二四六

電話 〇八六 二二六 七四五二

FAX 〇八六 二二一 六四九八

rinsei@pref.okayama.lg.jp

みんなで進める 森づくり 参加者募集中!!

「おかやま共生の森」植樹、保育（間伐・枝打ち）のつどい

実施日時	場所	問い合わせ・申し込み先
H18.1.14(土) 10:00~14:00	おかやま共生の森・川上 (高梁市川上町高山市地内)	岡山県備中県民局高梁支局森林課 TEL: (0866) 21-2847
H18.2.25(土) 10:00~12:00	おかやま共生の森・久世 (真庭市三坂地内)	岡山県美作県民局真庭支局森林課 TEL: (0867) 44-5233

松林再生のつどい

実施日時	場所	問い合わせ・申し込み先
H18.2.19(日) 10:00~14:00	高梁美しい森 (高梁市松山地内)	岡山県備中県民局高梁支局森林課 TEL: (0866) 21-2847

緑化用種苗器材
庭公園樹各種芝
造園設計・施工

株式会社 菁芳園

岡山市東古松2丁目10-28
電話 222-4038

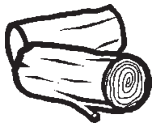
日本産原木しいたけ栽培を応援します

品質の信用が第一です

財団法人 **日本きのこセンター**

安心 本物

本部 鳥取市富安1丁目84番地 電話 0857-22-6161
鳥取駐在 鳥取市古郡家211番地 電話 0857-51-8132



林産物市況



木材 (12月16日)

単位：千円 / m³

樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概況			
杉	3 m	7~13	本180	-	本70	出荷材積 約700m ³ 杉 中目材 横ばい 柱材 横ばい 小径木 横ばい		
		14細	7	-	本70			
		14~16	12	-	8			
		18~20	13.5	-	8			
	4 m	7~12	本250	-	2			
		18~22	7.5	-	5			
		24~28	9	-	6			
	6 m	18~20	20	-	8			
	桧	3 m	7~10	本260	-		本70	桧 中目材 やや強い 柱材 やや強い 小径木 横ばい 記号 強気配 横ばい 弱気配
			11~13	本340	-		本70	
14細			21	-	6			
14~16			26.5	-	24			
4 m		18~20	25	-	24			
		22~24	25	-	20			
		26cm上	25	-	20			
		7~13	本280	-	3			
		14cm	25	-	20			
6 m		16~18	28	-	25			
		20~22	23	-	20			
		24~28	23	-	20			
		30cm上	25	-	20			
松	3 m	14cm	25	-	20			
		16cm	40	-	37			
	18~20	38.5	-	36				
4 m	22cm上	25	-	18				
	18~24	8	-	5				
24~30	12	-	7					

乾しいたけ (10月14日)

- ・出品K数 5.0 t
- ・価格高値 8,000円
- ・安値 320円
- ・総平均 3,220円

銘柄	価格		相場
	平均	高値	
香信大	4,950	5,800	
香信中	4,285	5,490	
香信小	3,110	4,890	
小間	-	-	-
香信山成	3,740	4,490	
バレ大	3,210	5,370	
バレ中	2,680	5,000	
スライス	2,100	4,410	
花どんこ	-	-	-
上どんこ	-	-	-
並どんこ	4,000	5,390	
並並どんこ	3,170	5,390	
小玉どんこ	1,530	3,090	
山成どんこ	3,030	3,520	
こうこ	4,330	8,000	
格外	1,820	3,290	

価格：円 / kg

(相場)

強： 保合： 弱：


資料：岡山県森連椎茸共販所市況速報

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製材 (12月下旬)

樹種	寸法	等級	区分	安値~高値
スギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	G	30,000~35,000
		特等	K	45,000~50,000
	正角 3 m 12cm角	特等	G	30,000~35,000
		特等	K	45,000~50,000
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	60,000~65,000
	正角 3 m 12cm角	特等	K	60,000~65,000
マツ	平角 4 m 10.5~12cm x 15~18cm	一等	G	35,000~40,000
米マツ	正角 3 m, 4 m 10.5cm角	特等	G	43,000~45,000
	平角 3 m, 4 m 10.5 x 15~21cm	特等	G	43,000~45,000
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	G	42,000~43,000
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm x 10.5cm	特等	K	49,000~50,000

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。



「緑の募金」

ご協力をお願いします

緑の募金で
CO₂ダイエット!
21世紀は森林の世紀

(社)岡山県緑化推進協会
岡山市錦町1-8 TEL・FAX(086)221-9511

緑の募金法制定10周年
募金期間
春のみどりの月間：4月1日~5月31日
秋のみどりの月間：10月1日~10月31日

公園・街路修景施設の設計・製作・施工
その他木製品の注文承ります

水を活かす
FOREST

株式会社 フォレスト

〒702-8058 岡山市並木町二丁目16番22号
TEL086-265-7350 FAX086-265-1841

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
 治山・林道の調査、測量、設計
 森林整備の総合計画
 治山・林道に係る用地測量
 公共事業に係る保安林業務



社団法人 **岡山県治山林道協会**



本所 〒703-8233 岡山市高屋225 - 1
 TEL (086) 271 - 3711
 FAX (086) 271 - 3773
 支所 〒708-0013 津山市二宮1849 - 2
 TEL (0868) 28 - 9360
 FAX (0868) 28 - 9363

安全・人と自然・調和 造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕くわんたい
 〔樹皮食い防止に〕バークガード 〔野生草食獣食害防止〕防獣ネット
 〔クズ専用除草剤〕クズノック・ザイトロン・ザイトロンフレノック
 〔樹幹注入剤〕センチュリーエース
 (お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：原岸株式会社
 TEL：086 - 465 - 7136

大同商事(株)大阪営業所
 TEL：06 - 6231 - 2819

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用(空中散布・地上散布)が出来る

スミパイン[®] 乳剤

樹幹注入剤 **グリーンガード[®]・エイト
 メガトップ[®] 液剤**

伐倒木用くん蒸処理剤

キルバー[®]

伐倒駆除剤

パインサイド[®] S油剤C,D

お問合せは 県森連・森林組合へ



サンケイ化学株式会社

大阪営業所
 大阪市淀川区西中島4丁目5番地1号 新栄ビル ☎(06)6305-5871

家庭用・事業用自動車総合保険KAP



間伐材等木材の有効利用と
県産材の需要拡大を図る

株式会社 **ケンモリ**

(岡山県森林組合連合会 出資会社)

〒700-0866 岡山市岡南町2丁目5番10号
(TEL) 086-224-7343
(FAX) 086-224-2655

林声
平成十八年一月一日(三八五号)

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用厚層植生マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート	再生紙利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	張りウッド [®] 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕	ペパール [®] 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材や古紙を有効利用した法面緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

http://www.nihon-shokusei.co.jp/
東中国支店 / 津山市高尾580-1 TEL (0868) 28-0256
岡山営業所 / 岡山市横井上1328-2 TEL (086) 294-1000

編集
発行人 岡山県庁林政課内
岡山県林業改良普及協会

“備えあれば憂いなし” 森林国営保険



加入できる森林は

人工林であれば、樹種、樹齢、面積
など制限なく加入できます。

加入期間は

1年単位でいつからでもご希望の年
数を加入できます。

保険金が出るのは

契約された森林が火災、風害、水害、
雪害、干害、凍害などにより損害が
出たときに、森林所有者に保険金が支払われます。

★森林国営保険についてのご相談は
もよりの市町村、森林組合または県民局・支局森林課の窓口へどうぞ。

●岡山県農林水産部治山課 電話番号 086(224)2111(代表)
086(226)7455(直通)